

特集

落成から60年の軌跡

市村記念体育館(旧佐賀県体育館)

創業者・市村清が私財を投じて寄贈した「市村記念体育館(旧佐賀県体育館)」は、落成から60年がたちました。

今号では、歴史的建造物として文化的価値の高い体育館の60年にわたる軌跡を紹介します。

リコー三愛グループ
**三愛会
会誌**

No.172 2024

リコーグループ

三愛オブリグループ

リコーエレメックスグループ

リコーリースグループ

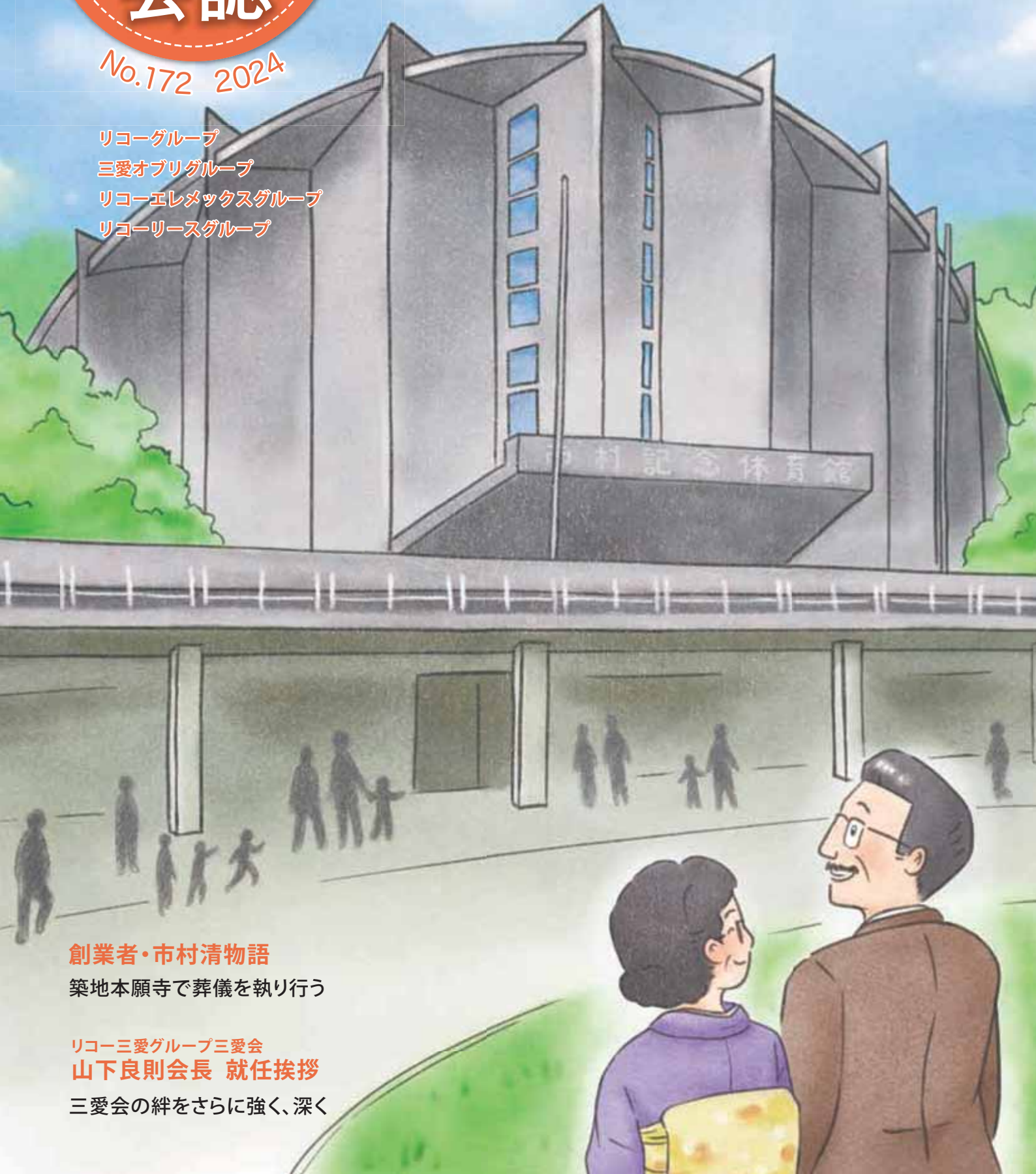
創業者・市村清物語

築地本願寺で葬儀を執り行う

リコー三愛グループ三愛会

山下良則会長 就任挨拶

三愛会の絆をさらに強く、深く



人々の生活と産業を支えるパートナーとして



私たちは、創始者 市村清が唱えた「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」の三愛精神を礎に人々と地域社会、
産業をつないできました。これからはその力を、持続可能な社会のために向けることが求められています。

培ってきたつながりを生かしながら、新たな事業領域にも挑戦し、

柔軟な対応力で課題解決に取り組み、人々の生活と産業を支えるパートナーとなることを目指します。

顧客 地域 社会と共に良い関係を結ぶという思いを「オブリ(Obbli)」の名に込めて。私たちは、「三愛オブリ」です。

Obbli

三愛オブリ株式会社

CONTENTS

02 会長就任挨拶

三愛会の絆をさらに強く、深く
リコー三愛グループ三愛会 会長 山下良則

04 創業者・市村清物語

築地本願寺で葬儀を執り行う

06 特集

市村記念体育館（旧佐賀県体育館）
落成から 60 年の軌跡

13 Group Information

リコー／リコージャパン／リコークリエイティブサービス
三愛オブリ／リコーエレメックス／リコーリース

17 三愛会プラザ

創業者市村清顕彰活動／創業者墓参／愛の手募金のご報告と御礼
支部の活動報告／三愛会社友会 他

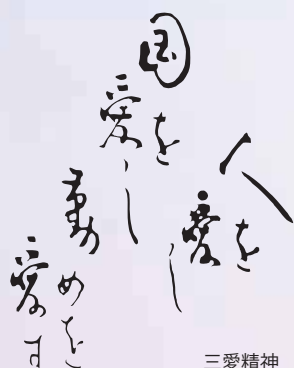
20 三愛会会員会社一覧

三愛会／リコーグループ／三愛オブリグループ
リコーエレメックスグループ／リコーリースグループ
その他の会社・団体

表紙の言葉

寄贈した体育館が佐賀県民に長年愛されているのを知ったら、市村さんは
きっと喜ぶだろうと思いながら描かせていただきました。

(作者 kouisan)



三愛精神



三愛会の絆をさらに強く、深く

リコー三愛グループ三愛会 会長

山下 良則

(リコー代表取締役会長)

2013年から10年間、三愛会会長を務められた近藤史朗会長の後任として、23年7月、第7代三愛会会長に就任いたしました。

三愛会の前身は、リコー三愛グループの創業者・市村清が1944年に設立した「自隣会」で、2年後の46年に「三愛会」と名称変更いたしました。そして、「三愛精神」は、同年12月に三愛会の機関誌『三愛』（現『三愛会会誌』）第1号の誌上で発表されました。

三愛精神「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」について私なりの解釈は、「人を愛し」は、お客さまや社員を大切にした事業運営をすること。

「国を愛し」は、今でいうと「地球を愛する」ということ。国連が発表したSDGsとも通じていますが、私はネイティブアメリカンのことわざにある「この地球は、先祖から継承したものでなく、私たちの子供たち、子孫から借りているもの」という言葉を大切にしています。

この地球を次の世代、さらにその次の世代へとつないでいくために、今何をしなければならぬかを考え、実践して行くことが私たちの使命であると考えています。企業の存在

意義も地球あってこそのものだと思っています。

最後に「勤めを愛す」ですが、働くことを愛するというのはとても意味深く、私たちの事業に示唆を与えてくれます。仕事は自ら熱意と責任感を持って主体的に取り組みないと愛せません。

私たちリコー三愛グループで働く皆さんには、自らの仕事でお客さまへお役立ちするこ



『三愛』第1号の誌上で
「三愛精神」が発表された



とで、働きがいを感じ、ひいては働く喜びを感じる、そんな集団であってほしいと、私は考えています。

市村清が三愛会をつくったのは、会員会社が相互に連携し、社員たちが親睦を図り、強い絆で結ばれることが望みであり、狙いでもありました。そして、その目的を達成すべく、脈々と活動が受け継がれてきています。

この強い絆を示す最たるものが、毎年年末に行っている「愛の手募金」の活動です。

残念ながら在職中に亡くなった社員のお子さん、重度障がい者になったため退職された社員のお子さん、そして、重度障がいを持つお子さんに対して、三愛会会員会社の皆さんが一体となって募金を集め、その浄財を原資としてプレゼントを行っています。本当に毎年多くの皆さんの協力があって継続できているものです。改めて皆さんの変わらぬご厚意に感謝申し上げます。

私もこれからその伝統をしっかりと引き継いで、強固な企業グループ集団となるよう、皆さんとともに頑張ってまいりたいと思います。

山下新会長に聞く・・・今の思い、好きな言葉、趣味 etc

山下新会長に、会長就任にあたっての思いや好きな言葉、さらに趣味など、プライベートについても伺いました。

——「三愛会」や「創業者・市村清」についての思いをお聞かせください。

リコーの社長に就任した後に、改めて創業者・市村清の考え方や行動力について多くの書物や逸話から学び直し、尊敬の念が高まりました。今でも、経営課題に直面した時に、市村さんだったらどうするだろうかと自問自答することがあります。私にとっての判断のよりどころでもあります。

——「好きな言葉」を教えてください。

「その障子を開けてみよ 外は広いぞ」という豊田佐吉翁の言葉です。

私なりにこの言葉をどう理解しているかをお話すると、まず一つ目は、実際にチャレンジすること、自ら経験をすることが大切であり『一流への唯一の道である』と考えています。若い頃からローテーションされることが多く苦勞の連続でしたが、今となっては大変に感謝しています。

もう一つは、【心の中の障子】を開けるという意味です。いわゆる自分の価値観や知見を広げることが自らの成長につながると考えています。ぜひ皆さんにも多方面に興味を広げて、多くの経験を積んでいただければと思います。

——趣味は何ですか。

米国駐在時代の知人からの紹介がきっかけで、7年ほど前から「小唄」をやっています。昨年3月、春日会で名取になりました。芸名は「春日

豊花翔とよはなしょう」です。

もともと野球やゴルフ、マラソンなどスポーツの趣味が多く、知人に「文化的な趣味も」と勧められるまま教室を訪れ、凜とした佇まいで朗々と歌い上げる師匠の姿に粹を感じて、それ以来のめり込みました。

——休日はどうのように過ごされますか。

犬の散歩をしたり、友人を自宅に招待してピザ窯でピザを焼いたり、BBQをしたり、厚さ9ミリの鉄板でお好み焼きを振る舞ったりして楽しんでいます。また、シーズン中はリコーブラックラムズ東京やPFUブルーキャッツの応援観戦にも行っています。

——最後に、リコー三愛グループの社員へのメッセージをお願いいたします。

改めて、三愛会会長の山下です。挨拶でも申し上げましたが、三愛会は今から80年前にさかのぼる1944年にその前身である「自蹊会」として設立され、46年に「三愛会」と改称しました。以来、リコー三愛グループにおいては、各社が切磋琢磨しながら大きな成功を収めてきました。これは私たちの誇りであり、今後もそうあり続けたいと強く思っています。

市村清が唱えた三愛精神は、現代を生きる私たちにあって、改めて学ぶべき教訓とも言えます。一人ひとりが三愛精神を実践し、さらなる飛躍を遂げていただきたいと強く思っています。三愛会では、そのための情報やイベント等の機会の提供を役割として今後も務めてまいります。



山下良則（やました・よしのり）会長 略歴

1980年 4月 (株)リコー入社
1995年 2月 Ricoh UK Products Ltd. (英国) Business Planning Division Manager
2008年 4月 Ricoh Electronics, Inc. (米国) 社長
2010年 4月 (株)リコー グループ執行役員
2011年 4月 同社 常務執行役員 / 総合経営企画室長
2012年 6月 同社 取締役 / 専務執行役員
2014年 4月 同社 ビジネスソリューションズ事業本部長
2016年 6月 同社 副社長執行役員
2017年 4月 同社 代表取締役 (現在) / 社長執行役員 / CEO
2023年 4月 同社 会長 (現在)
2023年 7月 三愛会会長 (現在)

上記以外の主な活動

2017年 4月 市村自然塾 関東 総合塾長 (現在)
2018年 6月 (株)サガテレビ 社外取締役 (現在)
2021年 4月 公益社団法人経済同友会 副代表幹事 (現在)
2021年 10月 JCLP (日本気候リーダーズ・パートナーシップ) 共同代表 (現在)
2022年 1月 令和臨調 第三部会 国土構想 委員 (現在)
2022年 6月 公益社団法人市村清新技術財団 理事 (現在)
2023年 6月 地方分権改革有識者会議 議員 (現在)

築地本願寺で葬儀を執り行う



1968（昭和43）年秋、体の不調を覚えた市村は生涯の親友であり、最も信頼する主治医でもあった村上長一氏（当時、大阪回生病院医師）の診察を受けました。しかし、時すでに遅く、食道にできたがん種が肝臓にまで転移しており、余命数カ月という診断がなされたのです。

同年12月16日午前7時13分、永眠。享年68歳。

社長急逝の知らせにリコー三愛グループの社員たちは大きな衝撃を受け、市村と親交のあった多くの知人、友人たちが深い悲しみに包まれたのでした。

市村清が泉下の客となつて半世紀余り、築地本願寺（東京・築地）で行われた葬儀・告別式の様子を中心に伝えたいと思います。

抜けるような青空の下

三愛会各社主催の合同葬儀・告別式が、12月20日午後1時から築地本願寺で執り行われました。

前日の通夜は雨もよう、しかも冷たい風が吹き荒れ、悲しみを一層増すような天候でした。

しかし、この日はうって変わって抜けるような青空が広がり、温かな日差しが降り注いでいました。この晴天は、生前の市村の徳をたたえ、また、市村との最後の別れに訪れた数多くの会葬者に心を寄せた、天の配慮であつたのかもしれない。

定刻、築地本願寺輪番・下川弘義氏の導師によつて厳かに葬儀が始まりました。祭壇の遺影の周りは紫と黄色のバラで囲まれ、その外側は12500本の白菊で飾られていました。

かけがえのない偉才を失った

葬儀委員長を務めたのは、市村が生涯最も師事した石坂泰三氏（当時、経団連会長）。彼は市村の遺影に語りかけるように、弔辞を述べました。

「君が辛苦に身を起こし、君の波乱万丈の人生はつとに人の知るところ、その事業経営に示された泉の湧くがごとき天外の着想と、生命を賭した烈々たる闘魂と比倫を絶する実行力や、忍耐についても、また贅言を

要せざるところであります。この君の人となりをよく知る私には、君の己に対する厳しさと酷使が君の健康を奪つたように思われて、痛恨極まりなく、述べる辞も知りません。……

今やわが国は一応産業の復興は成りしものの問題は内外に山積するの秋、これからが君の真に面目を発揮できる日を前に、この異色ある一大偉才を失つてしまつた。財界の一大損失と申さなければなりません。……君の才幹と徳風は、この経済界に清風となつて長く寄与をもたらずであります。これが君を送る日の、せめてもの慰めであります」

白菊を捧げる人の波

友人代表の内閣総理大臣佐藤栄作氏、郷里代表の佐賀県知事池田直氏、従業員代表の弔辞の後、焼香に移り、葬儀委員長、喪主、ご遺族、市村との交流が深かった友人、知人らが焼香して故人の冥福を祈りました。

寄せられた弔電は3000余通、その中にはマイアミ市長、オーストラリア政府など海外からのものも多数ありました。

定刻の2時を十数分過ぎて葬儀が終わり、告別式に移りました。

三笠宮宣仁親王殿下、佐藤首相夫人、近衛忠耀氏ご夫妻の献花が終わると、正面の扉が大きく開かれ、一





幸恵夫人の胸に抱かれて、自宅を後に



リコー本社前でお別れをする社員たち



築地本願寺の斎場へ



会葬者に挨拶をされる石坂泰三葬儀委員長（左）と幸恵夫人



多くの弔問客の中に森繁久弥氏（左）や石原慎太郎氏の姿も



世のため、人のために役立つ

般の会葬者による献花です。友人、知人はもとより、市村とは面識がなかったけれどもお別れに来たという人たちが多く、広い境内に入りきれず歩道まで並んだ会葬者は7000余名を数えたのです。

市村は「世のため、人のために役立ちたい」という思いを生涯抱き続けましたが、その最後の具現化が「新技術開発財団」（現 市村清新技術財団）の設立でした。

市村の最大の理解者だった妻・幸恵は『三愛会会誌』市村清追悼号（1969・4・4発行）の中で次のように綴っています。

「私たちの財産については、早くから世の中に役立てようと話し合っておりまして。……学校の設立とかいろいろ考えましたが、結局わが国の新技術の振興に捧げようと決めました。関係者のご尽力によって、その

財団ができましたのは、亡くなる4日前の12月12日でした。本人もさぞ満足であったろうと、それだけが慰めでございます。……」

亡夫はいつも口癖のように、『人間の生命には限りあるも、企業の生命には限りなし』と申しておりました。なにとぞ市村の遺しました事業の発展にご協力いただきますよう、泉下の夫とともに心よりお願い申し上げます」

幸恵は市村の事業の一部を引き継いでおり、まさに二人三脚で歩んだ人生であったと言えるでしょう。

* * *

市村がこの世を去って55年、市村の興したリコー三愛グループも時代の流れによって変貌を余儀なくされましたが、市村が提唱した三愛精神は脈々と受け継がれてきました。

これを機に今一度創業者・市村清に思いを馳せ、グループの一員として何をすべきかを考えてみませんか。





落成から60年の軌跡

市村記念体育館 (旧佐賀県体育館)

特集

市村清が残した功績は数々ありますが、その中の一つが1963年3月に市村が寄贈した「佐賀県体育館」です（92年4月に「市村記念体育館」に改称）。今号では、寄贈から半世紀余という長い年月がたった今でも佐賀のシンボルとして存在し、歴史的建造物として文化的価値が高い「市村記念体育館」の60年にわたる軌跡について、特集してご紹介いたします。

故郷・佐賀県の皆さんの役に立つもの、特にスポーツや文化の振興の一助になるものを寄贈したい、と市村は常々考えていました。

「将来を担う青少年の心身を健全に育成することこそが、国家や社会の発展の最大の基礎である。私が故郷に対して何らかのお返しができるなら、ぜひ彼らの精神と肉体の錬磨に役立つような道場にしたい」

佐賀県体育館は、まさに市村の思いの具現化でした。



「東京オリンピック 1964」では、佐賀県体育館前で聖火リレーが行われた



外観はジグザグ状の折板を丸くして壁をつくり、その上に中心が凹になる曲線の HP シェル[※]のつり屋根を被せることにより、柱の無い大空間を実現。正面からは王冠、側面からは鞍型を思わせる個性的なデザインで、東西両側の屋根から地面に突き出た梁が屋根を支えると同時に雨どいを兼ね、その下の大きな円形の枅が雨水を受ける。建物の構造上、窓はすべて平行四辺形になっており、窓ガラスも特注された。

※ HP シェル…hyperbolic paraboloidal shell の略。双曲放物線面を持つ貝殻のような容姿の構造で、壁面が柱の役目を兼ねている



正面ステージ。屋根の鞍型の形状がよく分かる



2 階スタンド席

競技フロアは 1 階から 4 階までの吹き抜けで広さはバスケットボールのコート 2 面ほど。820 席のスタンドを擁し、全国の体育館に先駆けて全館冷暖房、電光掲示板が整備されたほか、ステージも備えている

体育館の全容

佐賀県体育館は 1963 年 3 月 11 日、佐賀県民の体育・文化の振興を目的に市村が私財 2 億 1 千万円余を投じて寄贈したもので、地下 1 階・地上 4 階建て・鉄筋コンクリート造で、建物の高さは一番高い所で約 18 メートル（5 階相当）ありました。

設計は世界的建築家ル・コルビュジエ氏に師事し、日本のモダニズム建築の巨匠と呼ばれた坂倉準三氏。個性的な建物のデザインはもとより、手触りの良い木製の手すり階段、タイル張りの壁や床、楽屋の椅子、色彩など、至るところに坂倉氏の特徴的なデザインが見られます。

なお、2022 年、この独創的なデザインが「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」として DOCOMOMO JAPAN に選定されました



電光掲示板



平行四辺形の窓



美しい曲線の木製の手すりは年数を経て、あめ色に輝いている



壁や床などにタイルを使うことが多いのも坂倉デザインの特徴の一つ

坂倉準三氏 (1901-1969)

岐阜県羽島市出身。

1929 年渡仏し建築を学んだ後、31 年に建築家・前川國男氏の紹介で近代建築の巨匠ル・コルビュジエ氏の建築設計事務所に入所。帰国後は坂倉準三建築研究所を設立。37 年のパリ万国博覧会では日本館の設計を手がけ、グランプリ受賞。その後も日本におけるモダニズム建築の傑作を数々生み出した。

主な作品：神奈川県立近代美術館、新宿駅西口広場、東急百貨店東横店（現在は解体）、名古屋近鉄ビル、ホテル三愛（現 札幌パークホテル）、他多数。

戦後間もなくの時期に渋谷の街をデザインしたのも坂倉氏である。



体育館内での式典の模様



正面玄関前で行われた市村夫妻と池田直（すなお）県知事夫妻によるテープカット

落成式&寄贈式

1963年3月11日、市村夫妻出席の下、佐賀県体育館の落成式と寄贈式が盛大に行われました。当日は池田佐賀県知事や県内外の名士約1000人、市村の生誕地・北茂安村の小中学生、県内の高校生など800人が参列しました。式典は正面玄関前のテープカットから始まり、体育館内の会場では目録の寄贈式や体育館寄贈をたたえる紺綬褒章の受勲式、佐賀高校音楽部による体育館落成祝歌の斉唱などが行われました。

落成式の後には、館内のステージで市村夫妻による能の仕舞いが披露され、さらに、県出身の彫刻家・古賀忠雄氏が制作した市村の胸像の除幕式も行われました。

12日以降も小中高校生と一般の音楽会、佐賀県出身のピアニスト・豊増昇氏のリサイタル、体操大会、バスケットボール大会、東京大歌舞伎などさまざまな落成記念行事が開催されました。



佐賀県体育館落成祝歌
作詞 古賀 哲
作曲 陶山 聡



参列者たちに見送られて式典会場を後にする市村夫妻



落成式の様子は翌日の佐賀新聞でも大きく掲載され、県民の期待の大きさが伺えた



小中学生たちを前に挨拶する市村

「このような立派な体育館をお贈りすることができ、心から喜んでます。この体育館をフルに利用して、県民の文化、体育向上に寄与されることを願います」と述べた

開催された主なイベント

体育館では、63年の落成以降、体操やバスケットボール、剣道などのスポーツ大会や演奏会、演劇など多くのイベントが開催されてきました。

最近では、明治維新150周年記念「肥前さが幕末維新博覧会」（維新博）が2018年3月から19年1月まで体育館をメイン会場に開催され、県内外から200万人を超える来場者がありました。

ここでは、主な式典や大会、公演などをご紹介します。



維新博のメイン会場に

場内では幕末維新期の佐賀の偉業を「技」「人」「志」とテーマごとにスポットを当てて最新映像技術で紹介。「志」の場では、リコーのIT技術による、葉っぱに見立てた“ことのほ”がひらひらと舞った
(2018年3月～19年1月)



落成1周年記念・日中親善バレーボール佐賀大会を祝し挨拶する市村 (1964年)

1966年に松平康隆監督率いる全日本男子バレーボールチームが強化合宿を行い、オリンピック・メキシコ大会で銀メダルを獲得したことから、同体育館は男子バレーボールの聖地と呼ばれるようになった

TOPICS



けんらん どんちよう 絢爛豪華な緞帳

館内でひときわ目を引く正面ステージの豪華な緞帳は、三愛会をはじめ理研光学、三愛石油、リコーカメラなどが落成記念として寄贈した。

布地も染色もドイツに注文した特製品で、なんと1700万円（現在の約6000万円）もしたと言われている。一面に光り輝く約1万個のパンコールや落ち着いた淡いブルーの色調などはすべて幸恵夫人のデザイン。

現在、経年による退色等は見られるものの竣工時のまま残っている。
(写真は1983年に撮影したもの)



落成5周年記念式典で挨拶する市村 (1968年)



佐賀県政100年記念式典 (1982年)



全国高校剣道大会（1965 年）



オリンピック東京大会候補選手体操模範演技
(1964 年)



バレーボール佐賀大会（全日本男子対ポーランド戦）（1972 年）



佐賀県体育館 15 周年記念・国際親善新体操優秀選手招待演技会
(1978 年)

TOPICS



楽屋に残る名品

体育館 2 階にある楽屋の入口ドアや鏡台、椅子などが当時のまま使われている。

灰緑色のソフトレザーの椅子は建物を設計した坂倉準三氏のデザインで、今では値段が付けられないほどの貴重品。製作は名作椅子を数多く手掛けている天童木工で、現在も同じデザインの椅子が制作・販売されている。



第 13 回バスケットボール日本リーグ佐賀大会（1979 年）



ステージ左右の柱に『脱帽』のプレートがある。オープン当時は帽子を被る人が多かったのだろう。今ではほとんど見ることのない歴史の名残。



オペラ「夕鶴」公演（1965年）



ウィーン少年合唱団公演（1964年）



ワルシャワフィルハーモニー交響楽団公演（1970年）



佐賀県体育館創立6周年記念・市村清追悼音楽会（レクイエム）（1969年）



市村記念体育館を大切に守りながら、今後の利活用について検討する業務に携わっておられる佐賀県文化・観光局文化課の皆さん
（体育館の市村清胸像の前で。右から2人目が納富さん）

市村記念体育館の一番の価値とは
世界的建築家・坂倉準三氏が設計した美しい意匠が、60年の時を経てほぼそのまま残されている貴重な建物です。
また、外側から見ても内側から見ても美しい馬の鞍型をしたつり構造の屋根や、正面からは王冠のように見えるギザギザの外観は、

佐賀県文化・観光局文化課の役割とは
市村記念体育館は、もともとスポーツ関係の部署が所管していましたが、老朽化などに伴い、体育施設としての利用を2017年に停止。その後、この建物をどのように活用していくのか検討するために文化課が引き継ぐことになりました。
私たちは、この建物の歴史的・文化的価値を大切にしながら、新たな活用で生まれ変わらせ、後世に受け継いでいくことが与えられた役割だと考えています。

市村記念体育館への思い 納富大介さん（佐賀県文化・観光局文化課）に伺いました

見る人たちを魅了する、他にはない素晴らしい建物だと思います。

最も思い出に残っていることは

何といっても、2018年の明治維新150年にあわせて開催した「肥前さが幕末維新博覧会」が忘れられません！

私は当時、この博覧会担当者でしたが、市村記念体育館をメインパビリオン「幕末維新記念館」として活用し、日本の近代化を先導した佐賀の「人」「技」「志」を現代に生きた多くの人々に伝えることができました。

総来場者数は目標の100万人を大きく上回る224万人に達し、先人たちの偉業や思いがふるさとへの誇りを深め、新しい志を育んだと感じています。

佐賀県民にとっての市村記念体育館とは

1963年に「佐賀県体育館」として開館した市村記念体育館は、スケッチ大会、部活動の大会や高校総体の舞台として活用されてきました。青春時代に汗を流し、大きなクスノキの木陰で汗を拭いていた思い出の場所という方も多いと思います。

スポーツやイベントを通して、佐賀県民のさまざまな活動の舞台となり、佐賀県民共有の誇り高い財産になっていると思います。

今後の活用について

市村清さんから受け継いだ思いや、新たな「志」を育んだ維新博の記憶を継承し、いずれこの施設が佐賀の未来を創造する「文化創造」の拠点として生まれ変わってほしいと思っています。



市村記念体育館の市村清の胸像

次代へ向けて

市村記念体育館（旧佐賀県体育館）は建築から50年以上経過し、老朽化が進んでいること、またフロア面積が小さく競技会などを開催するのが難しいことから、佐賀県は2017年、スポーツ施設としての役割を終了する決定をしました。

しかし、市村が体育館に託した深い思い、20世紀のモダンニズム建築の代表的な建物であること、県民たちに愛されてきたシンボリック建物であったことなどを鑑みた結果、独創的な外観はそのまま、用途を文化施設に変えて保存・活用する方針が示され、現在、次の活用方法が議論されています。

近い将来、新たな役割を担って姿を現し、再び県民の皆さんから愛される場となってくれることを心待ちにしたいと思います。



市村記念体育館（旧佐賀県体育館）概要

設計者	坂倉準三建築研究所
施工	大成建設
建築主	佐賀県
寄贈者	市村清
構造形式	RC造
建築面積	2,082m ²
延床面積	4,318m ²
階数	地上4階、地下1階
客席	固定席820人、最大2,020人収容
竣工	1963（昭和38）年3月
所在地	佐賀県佐賀市内 2-1-35
備考	DOCOMOMO JAPAN モダン・ムーブメントの建築（2022年）

三愛会、リコー三愛グループ関連の最近のイベント



三愛会主催「第2回 市村清ゆかりの地を巡る 佐賀ツアー」開催
(2023年2月)

三愛会では、市村清創業者顕彰活動の一環として、2020年に第1回を開催。新型コロナウイルスの影響で間が空いたが、23年2月に2回目を実施、1泊2日の日程で19人が参加して、佐賀市内と市村の生まれ育ったみやき町を巡った



三愛会九州支部主催「三愛プレゼンテーションフェア in 佐賀」開催
(2022年5月)

会場にはリコー三愛グループ各社のブースが並び、集客イベントやオンラインセミナー、サガテレビによる会場中継などが行われた



リコージャパン主催で業務改善のためのフェアやDXセミナー等が開催
(2023年11月)

リコージャパン佐賀支社などが主催してDX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）に関する最新機器や事例を紹介するフェアを開催、約40社が製品を紹介するブースを設置した

リコー

卓球部が日本一！内閣総理大臣杯ファイナル4 優勝で年間王者に

12月9日～10日に「岐阜メモリアルセンター」（岐阜県岐阜市）で「内閣総理大臣杯 2023 年度 日本卓球リーグプレーオフ JTTL ファイナル4」が開催され、リコーが日鉄物流ブレイザーズを3対2で下し、2018年以来となる2度目の優勝を果たして日本一の冠を手に入れました。

「ファイナル4」とは、前期と後期の日本リーグの総合順位上位4チームが年間日本一を賭けて争うプレーオフの大会で、優勝チームには内閣総理大臣杯が贈られます。男子は総合1位の協和キリン、2位の日鉄物流ブレイザーズ、3位のシチズン時計、4位のリコーの4チームが出場。12月10日に決勝が行われ、相次ぐ接戦を制したリコーが見事に下剋上を果たし、年間王者に輝きました。リコーは前期大会6位、後期大会4位で「ファイナル4」に出場しての優勝。総合1位と2位のチームを相手に大激戦を制した、まさに「ジャイアントキリング」でした。



大山社長（中央）への優勝報告会にて
工藤監督（左端）と選手の皆さん

リコー

世界最大級のメディアアートの祭典に出展！

9月6日～10日、オーストリア・リンツで約10万人が参加する世界最大級のアート×テクノロジーの祭典“Ars Electronica Festival 2023”が開催され、先端技術研究所 HDT（Human Digital Twin）研究センターが出展しました。

Ars Electronica は、オーストリアを拠点に40年にわたり「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続ける世界的なクリエイティブ機関で、HDT研究センターは、アート思考で「はたらく未来」をコンセプト化・具現化するための共同研究を行っています。その一環として出展した今回のイベントでは、コンセプトである“Future Teams”の世界観を表現するために、テーマをもった3つのプロトタイプ“バディ”を制作。来場者に「はたらく未来」の世界観を伝え、体験してもらうことでさまざまな意見を収集しました。



Future Teams プロジェクトチームのメンバーと
3つの“バディ”

リコー／リコージャパン

沼津市制100周年記念「ぬまづ未来博2023」に出展

11月2日～3日の2日間、静岡県沼津市の「キラメッセぬまづ」にて、沼津市の市制100周年記念 沼津産業フェア「ぬまづ未来博2023」が開催され、リコーとリコージャパンでタッグを組んで出展しました。オープニングでは、沼津市に長年貢献した企業としてリコー 沼津事業所が表彰され、感謝状と盾が授与されました。

「ぬまづ未来博2023」は、市内産業の魅力を再認識し、地元企業への愛着を深めるとともに、未来の沼津の産業の在り方を考える機会とすることを目的に開催。最新技術の体験や製品の実物展示など、市内のものづくり企業による事業活動を紹介するブースのほか、沼津市の学生・生徒によるブースも出展され、約6,000人が来場しました。会場では就職を考えている方を対象に「企業魅力発見ツアー」も行われ、ブースを訪れた方々にリコーグループの取り組みをご紹介しました。



ブースの様子と沼津市から授与された感謝状
など

リコー

樹脂判別ハンディセンサーがエコプロアワードで経済産業大臣賞を受賞

12月6日～8日に東京ビッグサイトで「SDGs Week EXPO 2023」が開催され、リコーブースでは樹脂判別ハンディセンサー「RICOH HANDY PLASTIC SENSOR B150」を中心に、環境ソリューションを展示。12月7日には「第6回エコプロアワード」の表彰式が行われ、「経済産業大臣賞」を受賞したリコーの樹脂判別ハンディセンサーが表彰されました。

エコプロアワードは、日本市場において事業者・消費者・投資家、さらには市場関係者から評価が高く、具体的に優れた環境配慮が組み込まれた製品・サービス・技術・ソリューション・ビジネスモデルといった案件を表彰するものです。リコーの樹脂判別ハンディセンサーは、樹脂の種類判別が誰でも容易にできるようになったことで排出側での分別精度向上ができる点や、サーキュラーエコノミーに必要な製品を低価格で実現している点などが評価されました。



環境・エネルギー事業センターの出口裕一所長（左）と循環型ソリューション開発室の釜谷智彦室長

リコー

「勤労感謝の日」の広告が日経広告賞とJAA 広告賞をダブル受賞



2022年の「勤労感謝の日」に日本経済新聞朝刊に掲載した広告と、特設WebサイトのQRコード

2022年の「勤労感謝の日」に実施したキャンペーン広告「日本には、いろんな“ありがとう”がある。」が、日本経済新聞社主催の「第72回日経広告賞」の「電機・通信・事務機・情報部門 最優秀賞」と、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会（JAA）主催の「第61回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」の「新聞広告部門 メダリスト」をダブル受賞しました。

日経広告賞は日本の代表的な広告賞で、ビジネス視点や価値観を明らかにしながら、新聞広告をはじめSNSや特設Webサイトなど複数メディアとの連携を図り、広く発信したことが評価されました。JAA広告賞は、審査員に広告の関係者を含まず、広告の受け手である消費者が審査を行う総合広告賞です。今回受賞した広告は、世の中のはたらく人に感謝の気持ちを伝え、エールを送る「勤労感謝の日キャンペーン」の一環として実施。全国47都道府県の「ありがとう」を、ユニークなビジュアルで表現しました。



リコー

市村自然塾 関東、令和5年度の塾生が卒塾

リコー三愛グループ創業者・市村清の生誕100周年を記念して設立された「市村自然塾 関東」（神奈川県足柄上郡）は、令和5年度の塾生（第22期生）26名が、全18ステージの活動を終え、11月26日（日）に卒塾式を迎えました。

最終回となる第18ステージでは、卒塾から1年後の自分に宛てた手紙をタイムカプセルに入れて塾庭に埋めました。再会を誓って、彼らは塾舎を後にしました。

市村自然塾 関東では、設立20周年を機にスタートした自然塾ファミリー構想の一環として、「賛助会員」の募集を行っています。ご興味のある方は市村自然塾 関東のウェブサイトの詳細を掲載していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.szj.jp/>



卒塾1年後の自分に向けた手紙をタイムカプセルに入れて塾庭に埋めた

リコー

リーグワン 2023-24 が開幕

2023 年 12 月 16 日より、ラグビーの“リーグワン 2023-24”が開幕しています。

今シーズンのリコーブラックラムズ東京は「BREAKTHROUGH」をスローガンに掲げ、武井日向主将のもととトップ 4 入りを目指しています。

リコーラグビー部は 1953 年に創部し、2023 年は創部 70 周年イヤー。新ジャージは、これまでの歴史を色の重なりで表現し、胸に「70」の刺繍を施しています。

ホスト開幕戦となった 12 月 16 日の三菱重工相模原ダイナボアーズ戦は「70 周年記念 DAY」をテーマに開催し、70 周年記念ブースや限定デザインのベースボールシャツの配布、記念グッズの販売などを行いました。

また、昨年 9 月に開催されたラグビーワールドカップ 2023 フランス大会では、アマト・ファカタヴァ選手が日本代表最多トライ 3 をあげるなど大活躍しました。

ぜひ迫力あるプレーを見にスタジアムへ足をお運びください。

試合日程など詳細は公式 HP をご覧ください。 <https://blackrams-tokyo.com/index.html>



リコークリエイティブサービス

RCS 生活支援サイト「Rnavi」で掲載中のリーフ博士ブログ！



リコーグループの福利厚生制度保険を取り扱っているライフサポート事業部では、RCS 生活支援サイト「Rnavi」にて、毎月違うテーマのブログを発信しています。

スマホからも簡単に閲覧できますので、二次元バーコードを読み取ってご覧ください！

〈お問い合わせ先〉ライフサポート事業部 営業推進室
zjp_sales_promotion@jp.ricoh.com

■現在公開中のタイトル一覧■

- Vol.01 プチ生け花！「花セラピー」ご紹介
- Vol.02 御殿場市「SDG s 未来都市」ご紹介
- Vol.03 ホントに必要？火災（地震）保険
- Vol.04 自動車保険のオプション ドラレコ特約って何？
- Vol.05 リコー三愛グループ生命保険
- Vol.06 アフラック文化展
- Vol.07 RCS 保険の独自アンケート
- Vol.08 扇町防災フェス＜ 2023 年＞
- Vol.09 ぶっちゃけ…どうなの？最新のがん事情
- Vol.10 PFU「家計簿に関するアンケート調査」
- Vol.11 草月いけばな展＜草月会東京西支部＞
- Vol.12 ライフプランシミュレーション
- Vol.13 エスニックウェアブランド「RANGORIE（ランゴリー）」
- Vol.14 RTC ビア・パーティー 2023
- Vol.15 大森事業所ビア・パーティー 2023

リコークリエイティブサービス

住まい探しの第一歩 「リコー三愛グループ 住まいの法人提携制度」を活用ください

そろそろ「住まい」のことも考え始めたい・・・きっかけづくりに「紹介カード」のご利用を。

全国の法人提携企業約 150 社の割引・優遇制度をご活用ください。

例えば・・・ ●新築マンション（価格 5000 万円）を購入 ⇒ 1%の割引物件 → 50 万円の割引特典

●注文住宅（工事価格 3000 万円）で建築 ⇒ 3%割引の会社 → 90 万円の割引特典

制度適用には提携会社に「初めて」問い合わせをする前に当社発行の「紹介カード」提出が必要です！

① 住まいを考え始めたら → Web サイト「Rnavi」で検索！ 提携会社を確認 →

② 気になる会社・物件を見つけたら→「紹介カード」発券申請

〈制度に関するお問い合わせ・不動産に関わる相談〉

ファシリティマネジメント事業本部 CRE 部 担当：奥山・木野田 電話：090-6024-5881



三愛オブリ／三愛オブリガス東日本

地域社会における脱炭素社会の実現に向けた取り組み

三愛オブリ株式会社および三愛オブリガス東日本株式会社は、埼玉県児玉郡美里町および MOIL ホールディングス株式会社と、2023 年 9 月、包括連携協定を締結しました。

この協定により、美里町と各社が連携し、それぞれが持つ技術や資源を有効に活用することで、美里町民の理解と協力のもとに「美里町脱炭素ビジョン」の実現に向けたさまざまな取り組みを進めてまいります。

三愛オブリグループは、今後もこのような取り組みを通じて、地域社会と協力しながら、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



埼玉県児玉郡美里町との包括連携協定締結式の様子

リコーエレメックス

車両塗装外観検査装置を発売

リコーエレメックスは 12 月 19 日、車両塗装外観検査装置「RICOH Visual Inspection System 5000」シリーズを発売しました。

車両塗装外観検査装置とは、人が目視で行う外観検査を自動化する装置です。側面を固定式、上面をロボット式のハイブリッド構成にしたことにより、カメラと照明の配置を最適化でき、安定した撮像、高精度の検査を可能にしました。車両生産ラインを止めることなく検査でき、高速コンベアにも対応。車種変更・追加の際は、少量のデータのみで調整できるため、短期間での立ち上げ・導入が可能です。

車両塗装外観検査装置は、検査品質の安定化や自動化による省人化に加え、蓄積する検査データを活用した生産ラインの源流改善などに活用でき、自動車業界におけるお客様の現場の DX（デジタルトランスフォーメーション）にも貢献していきます。



「RICOH Visual Inspection System 5000」シリーズ

リコーリース

「PRIDE 指標 2023」でシルバー受賞

リコーリースは、2023 年 11 月、企業・団体における LGBTQ（※）などの性的マイノリティへの取り組みを評価する「PRIDE 指標 2023」において、シルバーを受賞しました。当社の受賞は、「PRIDE 指標 2018」から 6 年連続となります。

当社では、ダイバーシティ＆インクルージョンを人財マネジメントの基本と考え、性別や年齢、雇用形態、障がいの有無などを問わず、多様な人財がいきいきと活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。今後も、社員一人ひとりが互いの個性や特性、価値観などの違いを認め、尊重し合い、多様な個性が活躍できる会社を目指していきます。

※ LGBTQ：Lesbian（女性同性愛者）、Gay（男性同性愛者）、Bisexual（両性愛者）、Transgender（性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人）、Queer/Questioning（性的指向や性自認が定まっていない人）の頭文字



PRIDE 指標 2023 シルバー

三愛会・創業者市村清顕彰活動

エフエム佐賀・特別企画

リコー三愛グループ三愛会 presents「市村清 ふるさと佐賀の足跡」を放送中！

エフエム佐賀では、1月から新番組「市村清 ふるさと佐賀の足跡」を放送しています。

番組では、大学生の市川清史朗（いちかわきよしろう）が、ゼミの課題で市村清を取り上げることで、市村のふるさと佐賀に残したゆかりの地を巡る中でさまざまな人々と出会い市村の生涯、偉業について学んでいく…というストーリーになっています。

■放送期間 2024年1月2日（火）～3月26日（火）

■放送時間 毎週火曜 15:55～16:00（計13回）

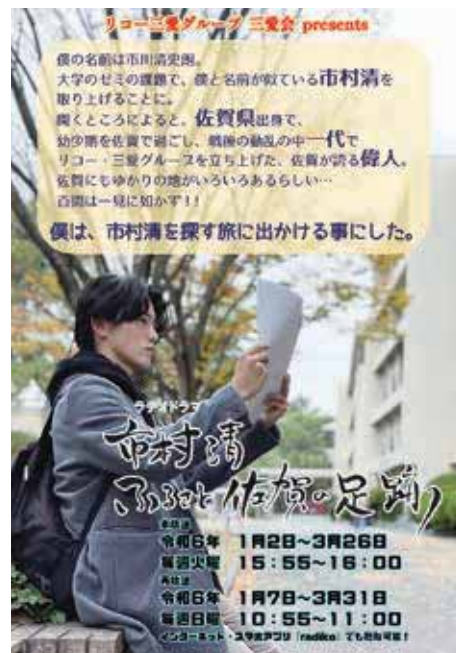
再放送：毎週日曜 10:55～11:00

インターネット・スマホアプリ「radiko」でも聞くことができます。

放送は、三愛会ホームページに定期的に公開していますので、こちらでもご視聴ください。

「市村清 ふるさと佐賀の足跡」

https://www.san-ai-kai.jp/ichimura/gallery.html#footprints_01



創業者墓参

三愛会では、リコー三愛グループ創業者・市村清の墓所（東京都港区元麻布・賢崇寺）を年4回訪れ墓参しています。2023年は9月22日に秋の墓参を、12月16日の祥月命日の墓参は同13日に実施しました。

24年の仕事始めとなる1月4日は、リコー会長そして三愛会会長の山下会長が、1月5日にはリコージャパン笠井社長はじめ同社幹部社員の皆さんがそれぞれ新年の墓参を行いました。



祥月命日の墓参



三愛会山下会長



リコージャパン笠井社長（左から3人目）と幹部社員の皆さん

「愛の手募金」のご報告と御礼

2023年の愛の手募金の募金金額は、グループ社員の皆さまのご協力により10,354,679円となりました（2024年2月1日現在）。

皆さまから寄せられたご厚志は、12月に年末プレゼントとして106人（10万円／人）の遺児、重度の障がいを持つお子さんたちに贈ることができました。

ご協力くださった社員の皆さまお一人おひとりに感謝してご報告いたします。



お子さんからの礼のお手紙

支部の活動報告

東京支部 Winter ビアパーティ

12月19日、4年ぶりに「Winter ビアパーティ」を開催。師走の寒い日にもかかわらず8社91名の方が参加して終始賑やかな会となりました。



東京支部 2024 年幹部新年会

1月10日、明治記念館にて14社81名の役員幹部の方々が参加して新年会を開催、初めに笠井支部長が祝意を表しました。



東北支部 2024 年新年会

1月19日、東北支部の幹部16名が参加して新年会が開催されました。対面での開催は4年ぶりで大変賑やかな会となりました。



中部支部 総会・懇親会

1月19日、リコージャパンの会議室に12名の幹部社員が参加して総会が行われ、その後、会場を移して懇親会を開催しました。



九州支部 市村記念公園（生家跡）の清掃活動を実施

11月24日、九州支部の会員会社の皆さんが集い、市村記念公園内の清掃を行いました。当日は落ち葉の原因となる大木をチェーンソーで切り細断する作業なども行いました。



「三愛会社友会」（リコー三愛グループOB会）入会のご案内

「三愛会社友会」はリコー三愛グループ出身者のOB会です。現在、約650名の会員がサークル活動やイベントをいきいきと楽しんでいます。ぜひあなたも社友会に入会して、シニアライフを楽しく過ごしてみませんか？

- 入会資格：三愛会会員会社の定年退職者（20年以上勤続もしくは会員2名以上の推薦）
- 入会金：3,000円 ■年会費：3,000円（7月以降入会は、当年度会費1,500円）
- 入会方法：各社人事総務ご担当者、または三愛会社友会（070-4418-0126）へお問い合わせください。



散策サークル
徳川昭武の私邸・戸定邸を訪ねる（2023年7月）



ハイキングサークル
霧ヶ峰・車山（2023年7月）



カメラサークル
三溪園撮影会（2023年11月）

社友会の12サークル

- 散策 ●ハイキング ●ゴルフ ●テニス ●スキー ●健康麻雀 ●囲碁・将棋 ●俳句 ●尺八 ●カメラ ●お蕎麦の会 ●スケッチ画

Web アンケート

より良い紙面づくりにご協力ください

三愛会会員会社の皆さまに、本誌の満足度と今後について、Web アンケート調査を実施します。
パソコンからスマートフォンで、下記 QR コードまたはアドレスにアクセスして、アンケートにご回答ください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/SAN-AI172>

アンケート実施期間 3月1日(金)～4月15日(月)

後日、三愛会がランダムに抽出した三愛会会員各社社員の方々にも本アンケートのお願いをメールで送らせていただく予定です、ご協力をよろしくお願いいたします。



三愛会からプレゼント

市村清がこの世を去って 55 年の歳月が流れました。三愛会では、今年初めて「三愛会オリジナル卓上カレンダー」を作製しました。

カレンダーには毎月ごとに、三愛会や市村清に関する主な出来事、市村清の名言などを要約とともに掲載しました。さらに、三愛会常任理事会社および三愛会所属の主な会社・団体の設立日も記しています。

今回は、読者アンケートにご回答くださった方の中から 50 名様に、この三愛会オリジナル卓上カレンダーをプレゼントいたします。



読者の声

『三愛会会誌171号』(特集:「三愛ドリームセンター」60年の軌跡)へのウェブアンケートに約100人の方からご意見・ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。その中から一部をご紹介します

●創業者・市村清について

*当時、三愛ドリームセンターを前例のない建築方法とデザインで建てようと思った市村さんは勇気のある人だと思えます。(リコー)

*三愛がオープンしたばかりの銀座の風景が今とはまったく違ってののに驚きました。(リコー)

*リコーの歴史を感じて改めて仕事を頑張ろうと思いました。(リコー)

*「三愛ドリームセンター」という名称が一般公募だったことを初めて知りました。(リコー)

●特集:「三愛ドリームセンター」60年の軌跡を読んで

*リコーの看板が掲載されていることは知っていたのですが、60年という長い歴史があるのを知らずとても興味深かったです。(リコー)

*三愛ドリームセンターに関する歴史に興味があったので、読んでよく分かりました。(リコー)

*コイコリンをなでると希望がかなうと聞いたことがあったので、以前ドリームセンターに行った際しつかりなでて来ました。(リコー)

三愛会カレンダー(2024年3月～7月)

※24年1月31日現在

三愛会全体

3月 三愛会・支部交流会開催

『リコー三愛グループ案内(2024)』発行

春彼岸 墓参

5月 愛の手委員会

7月 『三愛会会誌』第173号発行

孟蘭盆会 墓参

支部

4月 東京支部 総会(予定)

近畿支部 京都大谷本廟法要

三愛会ホームページのご紹介

三愛会のホームページでは、市村清の「今日のひとこと ～市村清の訓え～」や「市村清ゆかりの人物」など、さまざまなコンテンツを掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

URL <https://san-ai-kai.jp/>



三愛会会誌 編集委員

星谷 紀子 (リコー)
岩田 敏幸 (リコー) ※リコーエレメックス担当
東田 裕見 (三愛オプリー)
倉田 元子 (リコーリース)
竹田 千尋 (リコークリエイティブサービス)

編集後記

市村記念体育館は、老朽化により競技会やスポーツ施設としての役割を終えたことから、新たな活用に向けて進み始めました。

三愛会では、体育館に保存されている建築当初から現在までの歴史的資料を永久的に残すため、データ化の作業を実施しています。

そのかいもあり今回は懐かしい特別な画像をご紹介しますことができました。

いつも体育館を支えてくださっている佐賀県文化・観光局の皆さんに感謝しています。

今年の旅行プランにぜひ佐賀県を加えて、市村記念体育館や市村清ゆかりの地を訪ねていただきたいと思います。(E子)

リコー三愛グループ 三愛会会員会社一覧

本社のみ掲載 40社・団体 太字は三愛会・常任理事会社
(2024年1月31日現在)

会社（団体）名	所在地 ※ビル名は省略	電話番号	事業内容
三愛会	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3534-3401	会員会社・社員の福利厚生・親睦・文化活動等
リコーグループ			
(株)リコー	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-8111	画像機器の製造・販売およびソリューションサービスの提供
リコージャパン(株)	東京都港区芝3-8-2	050-3534-0800	さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供
迫リコー(株)	宮城県登米市迫町佐沼字北散田86	0220-22-4431	OA機器製造、精密金属部品の工法開発から製造
リコーインダストリー(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1210	事務機器、光学機器、印刷機器、機械装置等の製造とこれらの消耗品の製造ならびに販売など
リコーテクノロジーズ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-9550	事務機器、光学機器、印刷機器等の周辺機器、消耗品等の開発・設計および販売など
リコークリエイティブサービス(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-2685	事業所運営事業、厚生支援事業、ビジネス支援事業など
リコーインダストリアルソリューションズ(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3817-3333	光学・精密機器、製造・検査装置、材料・部品、ソフトウェア・システム等の開発、設計、製造、販売、サービス
リコーITソリューションズ(株)	神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1	050-3817-3900	ソリューションサービス事業、リコーグループ社内ITシステム事業
リコーテクノロジーサーチ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-5372	特許調査・外国出願（米欧中韓の翻訳）・特許管理
リコーデジタルペインティング(株)	東京都町田市小山町800-5	042-751-6110	プリンター、インク／塗料の製造・販売
リコーエスポール(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1590	アフターサービス用部品の包装、梱包業務、部品の組み立て、リサイクル業務など
三愛オブリグループ			
三愛オブリ(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-6880-3100	石油製品およびL Pガス等の販売、航空燃料取扱業
キグナス石油(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-5204-1600	石油類、石油化学製品の売買
佐賀ガス(株)	佐賀県佐賀市兵庫町大字西淵1996	0952-30-6161	都市ガス供給事業、ガス器具等の小売販売
三愛リテールサービス(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6810-3900	石油製品等の販売
三愛オブリガス東日本(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1833	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリテック(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1850	エンジニアリング事業、クリーンテクノロジー事業
三愛オブリガス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1731	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0160	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガスサービス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0164	LPガスの配送・充填
三愛オブリガス三神(株)	佐賀県神埼市神埼町本堀3003-6	0952-53-1221	LPガス・ガス器具等の小売販売、建設業
三愛オブリカスタマーサービス(株)	高知県高知市本町4-2-52	088-888-7200	石油関連製品等の受発注業
三愛オブリガスサービス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1750	LPガスの配送・充填
(株)トスプロ	佐賀県鳥栖市儀徳町2927-1	0942-83-3059	LPガス・ガス器具等の小売販売
リコーエレメックスグループ			
リコーエレメックス(株)	愛知県岡崎市井田町3-69	0564-23-5111	精密加工部品、産業機器、OA機器関連等の製造・販売
リコーエレメックスエーティー(株)	岐阜県恵那市長島町中野1218-2	0573-25-8524	精密加工部品等の製造・販売
リコーリースグループ			
リコーリース(株)	東京都千代田区紀尾井町4-1	03-6204-0700	リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業
テクノレント(株)	東京都港区芝浦4-13-23	03-6858-9300	各種計測器、IT機器のレンタル、計測・機器点検等の受託技術サービス、各種機器の販売など
その他の会社・団体			
(株)サガテレビ	佐賀県佐賀市城内1-6-10	0952-23-9111	放送法に基づく放送事業、メディア事業、その他の放送関連事業
(株)西銀座デパート	東京都中央区銀座4-1先	03-3566-4008	不動産賃貸業及び商業施設運営管理
(株)エフエム佐賀	佐賀県佐賀市本庄町大字袋286-5	0952-25-7790	放送法に基づく超短波放送事業、その他の放送関連事業
瀬の本高原リゾート(株)	熊本県阿蘇郡南小国町満願寺5621-7	0967-44-0513	観光ホテル、ドライブイン等の運営
日清紡マイクロデバイス(株)	東京都中央区日本橋横山町3番10号	03-5642-8222	電子デバイス製品・マイクロ波製品の設計および製造・販売
SBSリコーロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8202	国内物流、国際物流に関するトータルソリューション事業
SBS三愛ロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8203	地域における物流トータルソリューション事業
佐星醤油(株)	佐賀県佐賀市唐人1-1-16	0952-23-4624	醤油製造業、駐車場業、保険代理業
リコー三愛グループ健康保険組合	東京都品川区南品川6-11-6	03-3740-4881	加入会社社員・家族の医療給付と保険事業
公益財団法人 市村清新技術財団	東京都大田区北馬込1-26-10	03-3775-2021	新技術開発助成、市村賞贈呈、植物研究助成、少年少女創造性育成、地球環境研究助成、市村賞受賞記念フォーラム
リコーグループ福祉会	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-4278	リコーグループ各社への共済事業

つたえる。ひろげる。つなげる。私たちの仕事。

サガテレビは、昭和44年（1969年）4月に開局した
佐賀県で唯一の民間テレビ放送局です。

開局以来、地元の報道機関としての役割はもとより、
佐賀県民が知りたい話題、地元の祭りやスポーツの
情報発信・番組制作にも積極的に取り組んでいます。



SAGATV

株式会社サガテレビ www.sagatv.co.jp 〒840-8558 佐賀県佐賀市城内1-6-10
代表取締役社長 指山 弘雄

RICOH
imagine. change.

“はたらく”に、
喜びを。



私たちのサービスが実現するのは、好きな時に、好きな場所で、自由にはたらける世界。
はたらく人、場所、ワークフローが自在につながり、人間らしい想像力が発揮される未来。
そして、“はたらく”の変革に実現する、持続可能な社会。
リコーは、あるべき未来を思い描き、今をかえていきます。

はたらく喜びを、生きる喜びへ、つないでいくために。

<https://jp.ricoh.com>

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6